

目標は一般企業に就職

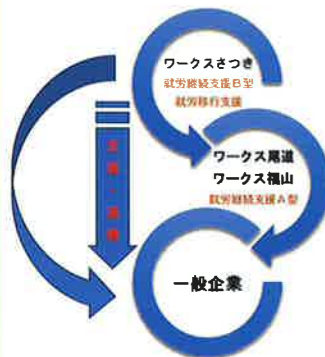
～就労継続支援B型から就労継続支援A型へステップアップ～ ワークスさつき 村上 諒輔

ワークスさつき(就労継続支援B型・以下B型)を利用していた柚木健太さんが1月にワークス尾道(就労継続支援A型・以下A型)へ移りました。どちらの事業所も「ワークス」という名称で、福祉用具の消毒作業を行っています。B型はサービスの利用契約を行い、生産活動で得た収入から工賃を支給します。A型はサービスの利用契約と雇用契約を行い、生産活動で得た収入から、最低賃金を保障し給与として支給するところに大きな違いがあります。

柚木さんは、ワークスさつきで日々の作業を通じた訓練や就職に向けた就労訓練プログラムを重ね、体力や対人コミュニケーション能力を身につけました。

ワークス尾道では、業務遂行能力や職場環境への適応能力が向上するよう訓練します。将来は、皆さんの目標である「一般企業への就職」が達成できるよう支援しています。

このように尾道さつき会では、一人一人の目標や状況に合わせて、各サービスからのステップアップや、その先の一般企業への就職を一体的に支援できるよう密に連携を図りながら、利用者さんの自立支援に取り組んでいます。



ミスを減らして
クレームゼロで作業し、
品質の良い商品をお客様に
提供します。
将来は企業に勤めます。



▲工作中的柚木健太さん

新商品のスノーボール ～優しい甘さとやわらかな口どけ～

すだちの家 前田 美帆



新商品
スノーボール
(6個入150円)

すだちの家で製造している「ココさんのクッキー」シリーズに新商品のスノーボールが加わりました。丸形の一口サイズで、口に入れた瞬間にフワッと優しい甘さが広がり、やわらかな口どけとともにバター風味が鼻に抜けていきます。

一つ一つ丁寧に手作りし、発酵バターや米粉を使用するなど材料にもこだわりました。

子どものおやつやちょっとしたプレゼント、いつものコーヒータイムのお供など幅広くお召し上がりいただけます。道の駅クロスロードみつぎとすだちの家で販売しています。

児童デイサービス スッカSukha・スッカ梅が台のホームページを開設いたしました。



スッカ 広島

寄付者一覧

(2020年9月～2020年12月・順不同・敬称略)

<寄付金> 黒田典子 芦田知昭 嶽齊幸 佐々木伸孝 田頭京子
匿名希望2名
<寄付物品> 村上のぞみ 廣宮久嗣 貸谷孝之 佐藤博之 城野隆典

編集後記

少しずつ寒さが和らいで、足取りが軽くなるはずの季節ですが、気持ちがふっと沈んでしまうような話題が続きますね。こんな時こそ「自分にできること」「少しでも心があたたまること」にコツコツ挑戦し、前向きに過ごしたいと思います。
H.S

さつき SATSUKI

第70号
令和3年3月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com

生まれ変わった食堂ホール

～みつぎ清風園の改修工事が完了～

みつぎ清風園 脇田 栄太

2016年度に尾道市から経営移管されたみつぎ清風園は、建設から約25年が経過し、内装のリニューアルと建物躯体の維持・修繕が必要になっていました。

そのため、昨年9月から約4カ月間にわたり、施設内外の大規模な改修工事を行いました。

この大規模な改修工事に備えて、経営移管後から毎年のように利用者さんや職員の意見・要望を聞き取り、実施に向けて設計事務所との打ち合わせを何度も繰り返しました。コロナ禍においても何とか工事に着手することができましたが、実際に工事が始まると廊下や食堂の通行制限や食事場所の変更など、利用者さんの生活に大変な迷惑をかけてしまいました。しかし、100人の利用者さんと全職員が一致団結し、大きなトラブルも無く工事が進められ

改修後の食堂の様子



改修前の食堂の様子



素敵な空間に!

ました。

食堂ホールの照明は、巨大なペンダントライトを採用したことにより、とても明るくおしゃれな空間になりました。工事終了後、「気持ち良く生活できるね」「明るい照明でご飯がますますおいしいね」と、利用者さんから高い評価をいただきました。また外部の関係者からも「おしゃれでとてもよい空間になりましたね」とお褒めの言葉をいただきました。

驚くほど素敵な空間に生まれ変わりましたので、コロナウイルスが落ち着いたなら、ぜひ一度見学にお越しください。



きれいになったカウンターで調理員も思わずピース

利用者さんの喜ぶ顔が見たいから ～忘年会に代わる行事を開催～



▲ヒゲダンスで盛り上がりました!

ヒゲダンスはヒゲを付けた職員がBGMに合わせて踊り、水の入ったバケツ回しや、輪投げキャッチを行いました。特にバケツ回しは、大技なだけに会場中から歓声が沸きました。○×ゲームは、それぞれの職員にまつわる問題を入れ、利用者さんが考えやすいように工夫しました。「実は私は…」などの問題では、隠されていた職員の秘密を知ってもらい「おもしろかったよ!」「そうだったんじゃない!」との声がありました。ゲームで盛り上がった後は、尾道で有名なケーキ屋さんのロールケーキを食べながら、一年の写真をまとめたスライドショーを流しました。スライドショーの最中に嬉し泣きをされる方もおり、開催を喜んでいただけました。

星の里小規模多機能型居宅介護事業所 やまが たくま 山鹿 拓真

昨年はコロナウイルスの影響で、毎年ご家族を事業所へ招待して開催していた忘年会が中止になりました。しかし、なにも行事がないのも寂しいので、利用者さんと職員で一年を振り返る会を行いました。

プログラムにはヒゲダンスや○×ゲーム、スライドショーを取り入れました。



▲○×ゲームの様子



季節の行事 ～感染症対策はバッチリと～



むかいしま作業所 やまが たくま 山田 壮太

11月に「秋の散策」、1月の仕事始めに「初詣」を行いました。秋の散策は密集を避けるため2つのグループに分かれ、向島洋らんセンターに行きました。研修室を借りて他の利用者との接触を避け、換気を充分に行いながら、ビンゴゲームを行いました。昼食には島内にある「おうちごはんmama」でテイクアウトしたお弁当やセンター内にある「パクパク」で購入したカレーを食べ、デザートは「メール洋菓子店」のケーキを楽しみました。紅葉を眺めながらの散策で、リフレッシュする機会になりました。



▲紅葉を眺めながら散策を楽しむ利用者さん

初詣は尾道・むかいしま厳島神社へ

参拝しました。神社までのウォーキングを楽しむグループと、公用車で向かうグループなど6つのグループに分かれて向かいました。神社で授与される「愛情守り」は、むかいしま作業所の利用者さんが織り上げた「さをり織り」で作られています。利用者さんも、お気に入りの色合いを選んでいました。

コロナウイルス感染拡大の影響で、毎年恒例の「むかいしま作業所まつり」や「日帰り旅行」が実施できませんでした。開催できる行事は限られている状況ですが、少しでも利用者さんが楽しむことのできる機会を提供するため、感染症対策を工夫し、行事を行っています。



▲好みの色合いのお守りがありました

異業種から転職してきた職員や、福祉・医療系の学部外から入職してきた職員を紹介します。

シリーズ

JOY CHANGE たのしく転職

ワークスさつき 佐藤 秀征

Q1 農学部を卒業されたそうですが、なぜ尾道さつき会で働こうと決めたのですか?

大学ではフィールドワークや研究室で実験をする日々でした。実家を出てみて地元尾道の良さを再認識したため、尾道の企業で働くことを軸に職探しをし、さつき会と出会いました。入職の決め手になったのは当時採用を担当してくださった方々がとても温かく、「この人たちが勤めているのだから、きっといい法人だ」と思ったからです。

Q2 就職して5年、今の気持ちはいかがですか?

現在、支援員として働いています。業務を通じて多くの課題に直面しますが、その都度考え取り組む毎日です。自分の業務が利用者さんの生活に繋がっていることに責任とやりがいを感じています。利用者支援も事業所で行っている作業も、どちらもプロでなければと肝に銘じて、今日も現場で緊張感を持って働いています。

Q3 福祉の仕事へ入職や転職を考えている人に伝えたいことは?

福祉の良さは目の前の人と関わる仕事なので、自分の対応の善し悪しがすぐにわかります。私の場合、利用者一人一人の生活や就労への難しさに寄り添い、支援員として共に歩むことは社会にとって必要な仕事であると感じています。そこに誇りを持っています。福祉の経験が全くなくても粘り強く仕事に向き合っていれば必ず力が付くと考えます。是非、一緒に働きましょう!



▲利用者さんと商品の点検を行っている佐藤職員 (左)

「おかげさまカフェ」オープン ～人とのつながりを深める場に～

尾道市向島地域包括支援センター 榎原 章恵



▲「兼吉版パプリカ」で体操

10月に向島町兼吉地区に「おかげさまカフェ」がオープンしました。これは、お大師さんを活用した住民の通いの場で、地域からの「人とのふれあいが欲しい」という声がかき寄せました。そこに地域包括支援センターの地域づくり事業と、広島県地域リハビリテーション支援センターが行う高齢者の健康づくり通いの場推進事業、社協がタイアップし、地域の方と専門職とでミーティングを何度も重ねました。

地域のリハビリスタッフが作成した「兼吉版パプリカ(パプリカの曲に合わせた体操)」で、住民の皆さんと介護予防に取り組んでいます。昔のようにお大師さんが地域の集まりの場になり、人とのつながりを深めていける場所になればと願っています。

クリスマス会を開催

～ブログで日常の様子を発信～

児童発達支援センターあいあい しげろ なみか 重白 奈珠香

12月にクリスマス会を開催しました。昨年はコロナウイルスが猛威を振るい、あいあいでも行事の開催が難しい状況でしたが、「子どもたちが少しでも季節を感じる機会を作りたい!」と、感染症対策を取りながら実施しました。

サンタクロースとトナカイがそりに乗って登場すると、「きたー!」と喜び声上がり、プレゼントの入った大きな袋に興味津々に見つめ、「どこからきたの?」と質問していました。最後はサンタクロースの姿が見えなくなるまで手を振り続ける姿も見られました。

また、普段の療育の様子を皆さまに知っていただくためブログの投稿を始めました。今回のクリスマス会の様子も投稿していますので、「尾道さつき会 ブログ」と検索して、ぜひご覧ください。

なかみは
なんかなー?

